



iPadでこれからの学びをデザインする

取り組みを評価する

目次

イントロダクション	03
評価して成長する	04

教育委員会や学校でリーダーの役割を担うみなさんにとって、今は非常に大切な時期です。同時に、この時期は自治体や学校にポジティブな変化をもたらすきっかけのときでもあります。テクノロジーを活用し、学びのあり方を再考することで、生徒の意欲が引き出され、より創造的な学習体験を生み出すことができます。これからの学びを前へ進めるため、Appleは学校の管理職や教育委員会、教師、政府機関、企業、そして保護者のみなさんと取り組み続けます。今後、学びの形がどのようなものになるとしても、教師のみなさんと生徒たちにインスピレーションを与えられるようにテクノロジーをデザインし、構築するというAppleが40年以上取り組んできた活動は続いています。

ビジョン

どの学校でも、どの教育委員会でも、教育におけるビジョンを掲げることは大切です。ビジョンとは、「変化する世界の中で、子どもたちの課題を解決する能力を育む」、「生徒がグローバル社会の一員として活躍できる人物になれるようサポートする」などのように、学びにおける意義や目標を示す指針のことです。そして同時に重要となるのが、適切なテクノロジーを取り入れることで、既存のビジョンを再考し、より良いものへと進化させることです。管理職を中心とするチームで話し合い、自治体や学校でこれからの学びを実現するための新しいビジョンを明確にし、取り入れるべきテクノロジーについて考えてみましょう。

テクノロジーを活用して指導と学習のレベルをさらに高めることは重要な取り組みです。「iPadでこれからの学びをデザインする」では、教育の現場に現在求められている変化に対応し、各学校や教育委員会のビジョンの実現に向けてAppleとともにこれからの学びをデザインする上で重点的に取り組むべき主な領域を、右に示した要素に分けて紹介します。これらの要素は、Apple製品を学習コミュニティで広く活用しているリーダーたちと話し合った結果を基に作成されたものです。みなさんの自治体や学校でも、すでに手応えを感じている領域もあれば、これから注力し、取り組む必要のある領域もあることでしょう。教育委員会の担当者や学校の管理職チームなど、教育の進むべき方向性を示すリーダーたちでこれまでの経過を振り返る際に、ぜひこれらのガイドを活用してください。



チームを作る >

さまざまな側面で計画をサポートし、地域コミュニティと連携を続けながら、円滑に取り組みを進められるように、複数の部門で構成されるチームを作ります。



キャパシティを広げる >

それぞれの人材の能力や使えるリソースを把握して、すべてのメンバーをサポートできるようにし、先を見越して学習環境におけるニーズに対応します。



コミュニティと連携する >

コミュニティの人々が、柔軟な学習環境において生徒たちを積極的にサポートするために果たせる役割を理解できるよう支援します。



学習と指導を再考する >

iPadがある学習環境に合わせて授業のあり方を再構築し、生徒たちの意欲を高め、新しい学びの達成を目指します。



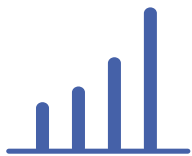
テクノロジーを管理する >

iPadを中心にしたテクノロジーを導入・管理し、教育委員会や学校のビジョンをサポートする学習環境を、家庭でも学校でも実現します。



評価して成長する >

進捗を評価して管理するための目標を設定するときは、常に教育のビジョンを念頭に置いてください。目標を達成するための新しい方法を探れる機会です。



取り組みを評価する

評価して成長する

このガイドでは、新しい学びのビジョンを念頭に置いて、実施した授業や取り組みを評価して成長を続けながら、目標に向けて前進するための方法を学びます。

継続的なイノベーションに取り組む学校や教育委員会では、うまくいったことや、うまくいかなかったこと、そして成長を続けるために改善できることを見極める仕組みが確立されています。学校や教育委員会のあり方を見直して変革に取り組む際は、明確な目標を特定し、その進捗を評価する方法を準備することが不可欠です。そうすることで、優先事項の変化に対応し、特定の領域でキャパシティを広げ、実際のデータに基づきながら、これからの学びを形作っていくことができます。

まずは目標や成功の形を定義することから始めます。新しい環境には何が必要だと思いますか？進捗を評価して管理するための目標を設定するときは、常に教育のビジョンを念頭に置いてください。こうした目標を達成するための新しい方法を探れる機会です。

生徒

生徒たちの自主性を育みながら、各生徒の成長と、それが学びにどう影響しているのかを評価しましょう。テクノロジーを活用した学校教育で、習得したことを評価できる新しい方法について考えてください。内容を理解するだけでなく、創造力を身につけ、成長し、一生懸命取り組むことも重要です。学んだことを表現するための方法を生徒たちが選べるようにすることが、これまで以上に重要になります。

形成的評価

学習プロセスの中にさまざまな手法を取り入れると、指導のデザインや学びの個別最適化がしやすくなります。こうした評価は、毎日の指導と学習の中で普段から行われるべきものです。

デジタルポートフォリオ

学習の進捗を確認するツールとして、デジタルポートフォリオの重要性が高まっています。ポートフォリオやジャーナルを使えば、手書きの文字や手を動かして行った作業の写真から、デジタル作品や注釈付きのムービーまで、さまざまな形で学習記録を残すことができます。iPadでClipsやExplain Everythingなどのアプリケーションを利用すれば、生徒たちは学んだことを表現するときに、創造力を発揮して楽しみながら取り組みます。

学習意欲

生徒の学習意欲を評価する方法を決め、意欲の低い生徒や授業を欠席している生徒に対応するプロセスを作りましょう。そのような生徒がいる場合は、教師のみなさんと協力して、その生徒の学習計画をデザインし直したり調整してください。iPadとテクノロジーをうまく活用すれば、教師のみなさんは生徒一人ひとりに合わせたさまざまな学習の進め方を実現できます。

自主性

柔軟な学習環境では生徒たちの自主性が重要になるため、生徒たちがどの程度自主的に取り組んでいるか、そしてそれが学習の中でも発揮されているかどうかを確認しましょう。

姿勢

新しい形の学びに対する生徒、教師、および保護者のみなさんの姿勢を評価することを検討してください。新しい形の学びを前向きに捉えているかどうか、新しい学習環境に期待しているかどうかを把握しましょう。

教師

教師のみなさんの時間は、授業やテストの採点、保護者への連絡などに使う時間と、それぞれの家族や、健康、私生活などのためのプライベートな時間に分かれています。教師のみなさんをサポートし、無理のない、持続可能な期待値を設定する方法を考えてください。以下の領域における期待値を明確に設定しましょう。

教師の優先事項

新しい環境での「優れた指導」に求められることや、それを今後どう変えていく必要があるかを定義します。期待値を明確に伝え、教師のみなさんも時間に優先順位をつけられるようになります。

共同作業

新しい環境では、教師のみなさんが協力して取り組み、アイデアを交換して、学校全体の知識を高めていくことが重要です。コミュニティの活動に積極的に関わっている教師がいれば、リーダーとして同僚の教師を引っ張っていくことも期待できます。

テクノロジーの活用

教師のみなさんが現在テクノロジーをどのように活用していて、どこを改善すべきなのかを把握するには、Appleが提供している学習テクノロジー調査を実施していただくのが最適です。どのような領域でプロフェッショナルラーニングを実施すればよいのかが見えてきます。この調査について詳しくは、je_inquiry@apple.comまでメールでお問い合わせください。

学習状況の確認と評価

教師のみなさんと協力して、生徒たちの学習状況を把握できるさまざまな方法を確認しましょう。実際の評価方法や評価項目を確認し、効果的だと考えられる部分とそうでない部分を見極め、そのデータを使って今後の評価方法を検討します。

イノベーション

この機会を利用して、急激な変化に素早く対応できる教師を見つけましょう。新しいことを試し、生徒たちにこれまでとは違うやり方を提示することにも意欲的な場合も多く、改善できる領域を特定し、それに向けて取り組んでもらえるでしょう。このような人材をすでに把握しているかもしれませんが、ほかにも新しい学習環境をデザインすることに関心を示している教師がいらないか視野を広げてください。

管理職

学校の管理職や教育委員会のみなさんは、優先順位や時間の使い方を変えて、新しい学習環境の実現に取り組んできました。新しい責務と、成果を評価するための新しいやり方を特定しましょう。

モデル化する

指示する内容が実現可能であると確認し、そのことをほかの人に示すには、新しい優先事項をモデル化するとよいでしょう。管理職のみなさんは、目的意識を持ってイノベーションやコラボレーション、インクルージョンをモデル化してください。

仕事の分担

幅広い領域をカバーする管理職チームができれば、その有効性を評価して、まだサポートが必要な領域がないかを確認しましょう。メンバーがそれぞれの担当領域に深く関与し、必要に応じたサポートを提供していることを確認してください。

コミュニティと連携する

地域の人たちからの質問や行動から、学校からのメッセージが正しく伝わっているかどうかを評価します。

まずはここから始めてみましょう：教育委員会向け

成長を続けるために改善できることを見極める仕組みを確立しましょう。さまざまな側面について評価と調査を行い、その結果をデータとして活用していくことが重要となります。たとえば、各学校の教師のみなさんがテクノロジーについてどれだけ理解しているかを把握するためにアンケートをとることも、大切な最初のステップです。

まずはここから始めてみましょう：学校のリーダー向け

生徒たちの自主性を育みながら、テクノロジーの活用が一人ひとりの学びにもたらしている影響を評価するための手法を具体的に検討しましょう。教師のみなさんと協力して、これまで足りなかった点を明らかにし、今後の手法を確立してください。